

【人材戦略方針】

ナカバヤシグループは、中長期的な企業価値向上の柱として、「健康・医療」「環境」「生活・福祉」「農業」「文化」の5つの領域において生命関連産業のリーディングカンパニーとなることを目指し、その担い手たる人材に関しては、以下の基本方針をもって、その充実を図るものとする。

1. 人材の多様性を確保・推進

生命関連産業をリードするために多様・多面的な視点が必要であり、その基礎となる多様な人材を確保する。

多様な人材としては、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向や性自認(LGBTQ+)、宗教・信条、価値観だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性も含むが、これに限るものではない。

2. 多様性の定着に向けた取り組み

2027年3月期までに、以下項目の目標達成を目指し、施策実施や制度整備、研修実施を図る。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ・中途採用管理職比率 | 40%以上 |
| ・女性管理職比率 | 5%以上 |
| ・障がい者の雇用率 | 法定雇用率(2026年7月から2.7%予定)以上 |
| ・性的指向や性自認(LGBTQ+) | 全社員向け研修の実施 |